

## 宮城県復興まちづくり通信

Vol.21

平成27年7月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



## トピック

## 1. 平成28年度以降5年間の復興事業について

平成27年6月24日に開催された国の復興推進会議において、平成28年度以降5年間（復興・創生期間）における復旧・復興事業の基本的な考え方や財源フレーム、一部事業での自治体負担など、約6.5兆円を復興事業費とする復興・創生期間の復興事業に関する枠組みが正式に決定されました。

期 間	復興期間（平成23年度～平成32年度）	
	平成23年度～平成27年度	平成28年度～平成32年度
名 称	集中復興期間	復興・創生期間
事 業 費	25.5兆円	6.5兆円
自治体負担	なし	一部事業で負担有り

これにより、復興まちづくり関連事業である被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業などの復興交付金基幹事業は、平成28年度以降についても全額国費により予算措置されることとなります。

## ■平成28年度以降の復興事業の整理

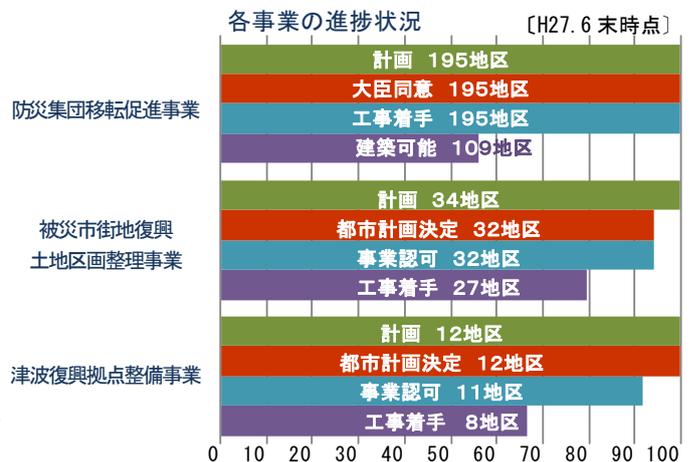
平成28年度以降も復興特別会計で実施する事業		一般会計へ移す事業
全額国費	自治体負担あり (地方負担の5%(各事業費の1~3%))	自治体負担あり (通常事業と同一)
<b>【基幹的な事業】</b> ○被災者支援(心のケアなど) ○災害復旧(インフラ復旧など) ○復興交付金の基幹事業 <b>【原発事故由来の事業】</b> ○放射性物質汚染廃棄物処理など <b>【その他】</b> ○直轄事業(三陸沿岸道路、相馬福島道路) ○農山漁村地域整備交付金(市町村防潮堤) ○任期付き職員・応援職員経費	○道路、港湾などの直轄事業 ※全額国費対応分を除く ○復興交付金の効果促進事業 ○社会資本整備総合交付金[復興枠] (道路事業)など ※宮城県は、東北自動車道以東の事業	○社会資本整備総合交付金[復興枠] (道路事業)など 左記以外の事業

## 2. 復興まちづくり事業の進捗状況について

**防災集団移転促進事業**については、計画地区数195地区の全地区において事業計画の大臣同意を得ており、工事着手は195地区(100%)、住宅等建築可能地区は109地区(約56%)となっています。

**被災市街地復興土地区画整理事業**については、計画地区数34地区のうち、32地区(約94%)で都市計画決定がなされ、事業認可は32地区(約94%)、工事着手は27地区(約79%)となっています。

**津波復興拠点整備事業**については、計画地区数12地区のうち、12地区(100%)で都市計画決定がなされ、事業認可地区数は11地区(約92%)、工事着手は8地区(約67%)となっています。



### 3. 復興交付金 交付可能額通知(第12回目)について

平成27年6月25日、復興庁から復興交付金に係る第12回目の交付可能額が通知されました。

復興交付金の県内沿岸部15市町への配分額は、約196.2億円(国費ベース)であり、申請額の102%の配分となりました。今回の配分では、岩沼市などの土地区画整理事業2地区や東松島市の津波拠点整備事業、石巻市の防災公園整備事業などが新規に事業費が配分されました。配分額の大きい事業種別は、津波復興拠点事業、次いで土地区画整理事業、下水道事業の順となっています。

県事業分も含む (単位:億円)

市町名	第11回までの交付可能額計		第12回交付可能額		合計		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
気仙沼市	2,984.2	2,408.1	35.6	27.2	3,019.8	2,435.4	沿岸部 (15市町)
南三陸町	1,194.7	971.3	24.2	18.9	1,218.9	990.2	
石巻市	4,168.6	3,386.7	51.5	36.7	4,220.1	3,423.4	
女川町	1,284.8	1,015.8	0.8	0.6	1,285.6	1,016.5	
東松島市	1,675.5	1,345.6	84.7	64.8	1,760.2	1,410.4	
松島町	200.1	154.2	9.7	7.3	209.8	161.5	
利府町	71.8	55.4	1.9	1.5	73.7	56.8	
塩竈市	614.1	479.4	9.8	6.3	623.9	485.8	
七ヶ浜町	414.1	335.8			414.1	335.8	
多賀城市	428.0	346.0	22.5	17.5	450.5	363.5	
仙台市	2,196.0	1,831.7	4.3	3.5	2,200.3	1,835.1	
名取市	766.6	611.7	2.9	2.0	769.4	613.6	
岩沼市	866.2	681.9	7.4	5.6	873.6	687.5	
亘理町	781.8	622.5			781.8	622.5	
山元町	846.2	676.0	5.7	4.3	851.9	680.2	
計	18,492.7	14,922.0	260.9	196.2	18,753.7	15,118.2	

※端数処理により合計と一致しない場合があります。

## 各地域の動き

### JR仙石線が全線運転再開 & 仙石東北ライン開業!

JR仙石線は、平成27年5月30日、東日本大震災により甚大な被害を受け不通となっていた高城駅から陸前小野駅間の復旧工事が完了したことから、震災発生から4年2カ月ぶりに、あおば通駅と石巻駅間の全線で運転を再開しました。また当日は、仙石線の復旧工事にあわせて、東北本線と仙石線を結ぶ新たな接続線が整備されたことに伴い、新たな運行ルートとして「仙石東北ライン」が開業したことから、復興を加速させる記念の一日として石巻市や東松島市などで記念の式典が開催され、開通を待ち望んでいた市民らが新たな門出をお祝いしました。

JR仙石線は、大震災により大きな被害が発生して各所で寸断され、段階的に復旧が進められてきましたが、今回開通した区間のうち、被害が著しい東松島市東名、野蒜地区では、新市街地の整備とともに野蒜駅と東名駅を含む約3.5km区間が内陸側の北部丘陵地区へ移設されました。仙台圏と石巻圏を結ぶ県内の大動脈であるJR仙石線の全線開通、仙石東北ラインの新たな開業は、通勤・通学時間の短縮などの利便性向上はもとより、仙石線沿線など各地で進められている復興まちづくりとともに石巻地域の再生に大きく寄与するものと期待されます。



石巻駅でのイベントの様子



新しい野蒜駅

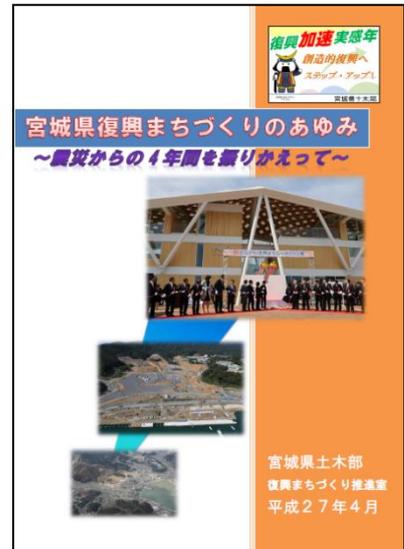
# 復興まちづくり推進室の取り組み

## 1. 「宮城県復興まちづくりのあゆみ」をまとめました。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から4年経過し、大津波により壊滅的被害を受けた沿岸市町においても、災害公営住宅の完成や防災集団移転地の宅地引き渡しなど、復興まちづくりの姿が少しずつ見えるようになってきました。このような状況において、発災直後から本県が率先して行ってきた、復興まちづくりの取り組みを記録し発信していくことは、被災県としての大切な責務であると考えております。

このことから当室では、復興まちづくりの基本的な方針を始めとし、財源や人員の確保、現在の課題への対応など、東日本大震災の発生から現在までの4年間における、復興まちづくりの取り組みをわかりやすく項目別に記録した「宮城県復興まちづくりのあゆみ～震災からの4年間を振りかえって～」を取りまとめました。本稿が、本県のみならず、他の自治体、関係機関・団体等における大規模災害等の事前検討などで活用していただければと考えております。

【「宮城県復興まちづくりのあゆみ」は宮城県のホームページでもご覧いただけます】



### 【目次】

I 復興まちづくり計画の概要	3 人員確保支援	2 まちづくり事業完了までの財源、人員の確保
1 復興まちづくりの基本方針	4 財源確保支援	3 持続可能なまちづくりに向けて
2 各被災市町の復興まちづくりの概要	5 情報発信・提供	IV 参考資料集
II 県による市町や被災者支援	III 残された課題	1 これまでの取り組み経過
1 時間経過に伴う市町支援内容の変化	1 事業進捗に伴う課題への対応	2 各市町の復興まちづくりの変遷
2 まちづくり計画等策定支援		

## 2. 高知県震災復興都市計画指針検討会議で発表を行いました。

高知県では、南海トラフ地震が今後30年間で70%程度の確率で発生が予測されており、さらに県内の想定津波高が黒潮町でH=3.4mとされていることなどから、南海トラフ地震等による大震災発生後の迅速な都市の復興を目指し、事前復興の指針を策定するための検討会議を行っております。

平成27年6月6日に開催された第4回会議では、高知県庁職員及び県内市町村職員に復興事業の理解を深めてもらうため、県外の事例のとして宮城県及び愛知県に発表の依頼があり、本県からは、当室が「宮城県における震災復興」と題し、東日本大震災からの復興まちづくり計画について、県及び被災市町の取り組みや計画の変遷、今後の課題と対応策等について発表を行いました。

当室の発表に対して出席者からは、復興まちづくり計画策定時の参画メンバーや震災前の避難計画策定時における新たなまちづくり計画の想定の有無、災害公営住宅の整備計画と入居希望者の状況等について多くの質問があり、震災復興に対する関心の深さが伺えました。

今回の発表が少しでも高知県の事前復興の取り組みへの一助となればと考えております。



海に隣接する高知市街地



高知県震災復興都市計画指針検討会議

### 3. 「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」VOL.5(夏号)が完成しました！ ～復興の花が咲きはじめました～

東日本大震災から5年の節目の年を迎え、県内では復興まちづくり事業がより本格化しております。当室では、沿岸15市町の協力を得ながら最新の復興状況を写真やイメージパースなどで分かりやすく1枚にまとめた「みやぎの復興まちづくりマップ(壁新聞)」を作成しており、このたびVOL.5(2015年・夏号)が完成いたしました。このマップには、沿岸部の復興状況のほか夏のイベント情報を催し記カレンダーとして併せて記載しておりますので、是非一度ご覧になってください。

また、当室では、今年度も沿岸市町における現在の復興状況を発信する取り組みを進めており、本マップにつきましても、沿岸部の市町へ配布するとともに、関係機関や商業施設等での掲示を行うほか、県外でもパネル展を開催するなど、発災後から御支援を受けております全国の方々に本県の復興状況を発信し、被災地に足を運んでもらえるよう取り組んでまいります。

【「みやぎの復興まちづくりマップ」は宮城県のホームページでもご覧いただけます】



## 市町からのたより

### 松島町 避難場所・避難施設の整備を進めています。

松島町松島地区は、日本三景の一つに数えられ、年間約300万人(平成26年値・震災前約360万人)の観光客が訪れる本町観光の中心的地区となっておりますが、東日本大震災では、地震や津波により甚大な被害を受けたほか、帰宅困難となった観光客などの受入先が問題となりました。

こうした教訓から、本町では、地域住民や観光客等の安全・安心な避難環境を確保するため、津波浸水区域の背後地となる高台に避難場所、避難施設の整備を進めております。

避難施設の配置や外観デザイン等については、特別名勝松島の区域内であることに配慮したものとなっております。現在は、造成工事の最盛期であります。三十刈地区の避難場所は、来年3月頃の完成を予定し、石田沢地区の避難場所は、来年夏頃の完成を予定しております。



石田沢地区

#### ○ 石田沢地区の整備イメージ

避難場所 A=約2.0ha(避難者受入想定人数 2,000人)

防災まちづくり拠点施設(避難施設)延床面積 A=984㎡(避難者受入想定人数 450人)

備蓄倉庫 延床面積 A=500㎡, 自家発電設備 1基



三十刈地区

#### ○ 三十刈地区の整備イメージ

避難場所 A=約2.4ha(避難者受入想定人数 3,460人)

避難施設 延床面積 A=300㎡(避難者受入想定人数 130人)

備蓄倉庫 延床面積 A=500㎡

松島町企画調整課震災復興対策室

○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
TEL.022(211)3207 FAX.022(211)3295  
e-mail [fukumachi@pref.miyagi.jp](mailto:fukumachi@pref.miyagi.jp)  
HP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>

